

第3学年学級活動指導案

期 日 平成15年8月29日(金) 5校時
場 所 3年1組教室
対 象 3年1組16名 男7名 女9名
指導者 丹 康浩

- 1 題材名 「相手の気持ちを考えて生活を見なおそう」
～クラスメートのなぞをとくのはきみだ!～

2 指導に当たって

(1) 題材について

本題材は、小学校学習指導要領特別活動2内容A学級活動の(2)「日常の生活や習慣への適応及び健康や安全に関すること」をねらって設定した。

この時期の児童は、1学期の生活の中で身についた集団の意識が、夏休みを過ごすことで、個人の生活になることにより、薄れてきていると思われる。また、生活のリズムも崩れてきていると思われる。児童が、集団意識、生活リズムを早く取り戻し、これから新たに始まる学校での生活をよりスムーズに送ることができるよう支援したい。

そこで、集団の意識が薄れ、生活のリズムも崩れがちになっている児童が、夏休みの生活を振り返り、友達的生活と比べることで、薄れている集団意識を取り戻し、さらに、よりよい生活を送るために、自分の生活を見直すような時間にしたい。

(2) 児童について

明るく活発な児童が多いが、中には自分勝手なことをしたり、言ったりする児童がおり、クラス全体としてのまとまりにかけられる面が見られる。

そこで1学期は、生活班を中心とした人間関係作りに力を入れてきた。特に係活動や調べ活動などでは、できるだけ生活班を生かして活動してきた。そして、個人の活動から集団の活動を意識して行動する児童が出てきている。しかし、まだ自己中心的で自分勝手に行動をしたり言動を取ったりする児童もいる。2学期が始まると夏休みによる個人の生活により、1学期に育った集団の意識が薄れてくると予想される。

生活のリズムについては、家庭の影響で夜型もしくはそれに近い生活を送っている児童もいる。2学期に入って行ったアンケートでは、就寝時間が午後8時から9時までの児童は38%、9時から10時までの児童50%、10時以降は12%であった。毎日朝食を食べてこない児童はいないが、遠くから通っている児童のなかには、寝坊して食べる時間がなかったという経験がけっこうあるようだ。親への依存からそろそろ脱却していくこの時期、自分の生活についてじっくり見直す機会としたい。

(3) 指導について

これらの児童の実態をふまえ、今回の授業では構成的グループエンカウンターを使い友達と交流することから、普段の自分の生活を見直し、生活をよりよく送る態度を育てていきたい。そこで、「クラスメートのなぞをとくのはきみだ!」という題で構成的グループエンカウンターを取り入れた授業を実施する。互いの生活時間や様子を推測し、当てあう活動である。この活動を通し、友達的生活のリズムと自分の生活リズムの違いに気づかせたい。そして、普段の自分の生活を見直してほしいと考える。

授業では、「クラスメートのなぞをとくのはきみだ!」と題し、互いの生活時間や内容を予想して、実際に聞き合う活動を行う。子どもたちは自分が何時に寝るのか、何時に起きるのかあまり意識していないようである。特に本校では、集団登校がなく通学時間も異なるため、友達と時間の比較がしにくい。意図的に聞き合う機会を設定することで、互いの生活時間・生活リズムを意識させ、よりよい生活を送るための基盤を作りたい。また、聞き合うことの楽しさも体験させながら指導したい。

3 指導計画

段階	期 日	活 動 内 容
事前	4月 学級活動	エンカウンターで自己紹介 ～自分のことをみんなに知ってもらおう～
	8月 帰りの会	夏休みの生活についてアンケート
	8月 学級活動	夏休みの思い出を紹介しあう（エンカウンター）
本時	8月29日（木） 学級活動	相手の気持ちを考えて生活を見なおそう ～クラスメートのなぞをとくのはきみだ！～
事後	9月 保健学習	「けんこうな生活」 身の回りの清潔と気持ちのよいこと、体によい過ごし方について考える
	9月以降 朝・帰りの会	月ごとに生活の振り返りアンケートを行う （自己評価を行う）

4 本時の活動

(1) ねらい

- ・互いの生活時間や内容について、交流し今までの生活を振り返り、よりよい生活を送る気持ちを持つ。
- ・聞き合いを通して、相手との心の距離が縮まることを実感する。

(2) 準備物

- ・ワークシート
- ・ふりかえりカード
- ・ストップウォッチ

(3) 展開

段 階	学 習 活 動		○学習支援上の留意点 ・資料
	教師の働きかけ	予想される児童の反応	
導 入 10分	1 本時の学習活動について知る ・「クラスメートのなぞをとくのはきみだ！」という題でみんなの普段の生活を見直す学習を始めます。	・どんな学習なんだろう。 ・おもしろそう。 ・早くやろう。	○できるだけ男女ペアになるように2列ずつ机を向かい合わせておく。 ○勝負にこだわってしまう児童がいるので、相手に不快感を与えないように注意しておく。
	2 ウォーミングアップ ・心と体をほぐしましょう。 ・「あっちむいてほい」をします。 ・「あっちむいてほい」をやってみての感想を発表しよう。 (勝った人の気持ち、負けてしまった人の気持ち)	・誰とやるの。 ・負けないぞ！ ・おもしろかった。 ・悔しかった。 ・勝ってうれしかった。 ・負けて悔しかった。	

<p>展 開 30 分</p>	<p>3 活動内容の説明を聞く (構成的グループエンカウンター) ・今日の授業内容は、探偵になっ たつもりで友達の生活時間や様 子を予想して当てる活動をしま す。 ・やり方を説明します (友達の生活時間や様子を予想し て、実際に聞き合う)</p> <p>4 活動を行う ・1つ目の項目を練習でやってみ ましょう。 ・では、相手を変えて、次の項目 を聞いて見ましょう。 ・全部の項目が終わったら、得点 を計算しましょう。</p> <p>5 話し合う ・生活時間や様子を聞いてみて、 すごいなーと思ったことはどん なことですか。見習いたいなー、 まねしたいなーと思ったことな どあったら教えてください。</p>	<p>・ワークシートの名前を 記入する。</p> <p>・当てるの難しいな。 ・うまく当たるかなあ？</p> <p>・えー！そんな時間に寝 るの。 ・トマトが嫌いだったの か。 ・やったー！たくさん正 解したぞ。</p> <p>・〇〇君は、5時に起き てるなんてすごいと思 いました。 ・〇〇さんは、家に帰っ たらすぐ宿題をやっ ているので、私も見習 いたいです。</p>	<p>○ワークシートを配る ・ワークシート</p> <p>○生活時間や様子は、相手 によって答えを変えない ように念を押す。</p> <p>○ストップウォッチで時間 を計り合図する。 ○一度使った問題は、二度 使わないように伝える。 ○2～5の項目は、どの項 目から行ってもよいこと を知らせる。 ○どの程度正解したか、挙 手で確認し、1番多く正 解した児童に拍手を送る。</p> <p>○お互いが認め合える発問 (相手のよい点を認めるこ とができる)をし、プラ スの考えをたくさんださ せる。</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>6 まとめとふりかえり ・今日の学習のふりかえりをしま しょう。</p>	<p>・ふりかえりカードに記 入する。 ・いつもあんまり話せな い子とたくさん話がで きた。</p>	<p>・ふり返しカード</p>

(4) 評価規準 (評価場面)

〈関心・意欲・態度〉

- ・互いの生活時間や内容について交流し、今までの生活を振り返り、よりよい生活を送ろうとする気持ちを持ち自分をよりよく伸ばそうとしている。

(ふり返しカード・発言の内容・教師の観察)

- ・友達のよさにふれることにより、自分の生活を見直そうとしている。

(ふり返しカード)

〈技能・表現〉

- ・話し合いにおいて、自分なりの考えや必要なことを発表したり、意見交換をしたりしている。

(発言の内容・教師の観察)

クラスメートの なぞをとくのはきみだ！

3年()

	相手の名前	はじめに「すいり」しよう	よそう	○または×
れんしゅう	さん・くん	①夜は何時にねていますか？	時	
		②ふとんに入ってすぐねむれますか？	はい いいえ	
1	さん・くん	③今日は、どんな朝ごはんを食べてきましたか？	ばん ごはん	
		④朝起きると「おなかがすいたなあ」と思いますか？	はい いいえ	
2	さん・くん	⑤体を動かす遊びで好きなものを1つ教えてください。		
		⑥家に帰ってら、すぐ宿題をしますか？	はい いいえ	
3	さん・くん	⑦もっともきれいな野菜は何ですか？ 1つだけあげてください。		
		⑧給食のとき、その野菜をがんばって食べたことがありますか？	はい いいえ	
4	さん・くん	⑨朝は何時に起きますか？	時	
		⑩起きるときは、お家の人に起こしてもらったことが多いですか？	はい いいえ	



正解の合計

コ